



学校公開に合わせて



11月8日(土)、御園中学校では学校公開及び新入生保護者説明会が行われ、区内のきこえの教室に通う現在小学5年生の児童1名と保護者の方が来校されました。

この日は難聴学級についての説明を受けた後、校内通級生が在籍するクラスの授業を見学。通常学級の授業の参観で、中学校生活へのイメージが膨らんだようです。

保護者の方に印象を伺うと、とても落ち着いて授業を受けていることに好印象をもたれていました。御園中の教員としてこのように言っていたことに、大きな喜びを感じます。

きこえの教室に通う小学生や保護者の方々には、校内通級・校外通級のどちらが合うかを、じっくりと考えてもらいたいと思っています。各校、年に複数回、学校公開が実施されています。学校の雰囲気や校内の環境に触れていただける有意義な機会です。3年間を過ごす中学校を悔いなく選べるよう、二度三度と足を運んでみてください。

校内通級を利用する場合の一番のメリットは、静かな難聴学級での個別・小集団指導や、式典や集会、特定の授業での情報保障等の施設面や取り組みでの「バリアフリー環境」です。選ばれる御園中学校で在り続けられるよう、区内唯一の難聴学級として取り組んでいきます。

御園中学校の次の学校公開日は来年3月7日(土)です。3年生は卒業を迎える時期ですが、2学期から入級した1年生たちが力を付けてくる頃です。この日に限らずとも、難聴学級の授業の参観や質問等を希望される保護者の方は、お気軽にご相談ください。

校内の環境整備 バリアフリーに向けた取り組み

聴覚障害生徒や聴覚過敏生徒がより良い学習・生活環境で過ごすため、イス・机の脚にテニスボールを装着して騒音を抑制しています。本校では現在、校内通級生が在籍する2クラスと音楽室に装着しています。そしてこの度、区内テニススクール(レテテニスクラブ様)より、使用済み硬式テニスボールを寄付していただきました。環境整備を前進させる大きな一歩です。ご厚意に感謝申し上げます。

2学期「学期末面談」及び「在籍校訪問」について

早いもので2学期もあと1ヶ月余りとなりました。

今学期末も、指導の振り返りや今後の支援等の意見交換・情報共有の場として通級生・保護者との「学期末面談」や在籍校担任との「在籍校訪問」を実施します。ご都合がよろしい日(例.12月の在籍校での学期末面談後、冬休み期間等)がございましたらご連絡ください。

なお、難聴学級を次年度(令和8年4月以降)も継続して利用する場合、継続申請を行います。期末の面談の前に次年度の利用についてご家族でご相談いただき、面談時にお伝えください。

年末年始の予定

- 11月26日(水)
：グループ学習日
- 12月3日(水)
：委託聴力検査(関東労災病院)
集合 13時45分
蒲田駅 東急線改札口前
- 12月24日(水)
：グループ学習日
- 1月8日(木) 始業式
※年始の通級開始は翌週から

デフリンピック 2025 東京大会



今年度の通級生はバドミントンやバスケットボール、サッカー等、在籍校でそれぞれが好きなスポーツを部活動に選び、学校生活を充実させています。3年生も、それぞれ熱心に応援したいプロチームがあり、スポーツに関心が高い印象です。

とはいえ、「デフリンピック」という言葉にはピンと来ない通級生もちらほら見られます。きこえづらい・きこえないアスリートのための世界大会「デフリンピック」。通級生に自分たちが日々取り組むスポーツが、デフスポーツとしてどのような特徴があるのか。開催に向けて、理解を深めました。

デフリンピック ～バドミントン部門～

- ・開催場所
東武東上線 千駄ヶ谷駅
- ・開催期間
11月20日(木)～25日(火)
- ・デフリンピックでのルールと特徴
国際ルールに準拠(きこえる人と同じ)
- <ルール>
基本は同じルールで行われる。
捕球などの動作は禁止されている。
- <特徴>
選手は視覚的な情報やパートナーとの手話・視覚サインなどを使ってプレーする。
打球音が聞こえないため一歩遅れることがあるそうです。
特にダブルスでは声によるコミュニケーションがとれないため大変です。



デフリンピック ～バドミントン部門～

✓私のイチ推し選手✓

- ・東京大会出場選手人数 273人
- ・イチ推し選手 矢ヶ部紋可・真衣選手
姉妹でデフバドミントン日本代表
- ・選手たちの苦労
2025年のデフリンピックでの金メダル獲得という大きな目標に向けて、姉妹で離れて練習する期間なども生じており、お互いの存在がモチベーションになっていると語っています。



デフリンピック ～サッカー部門～

- ・開催場所
Jヴィレッジ(福島県、蒲田から3時間半)
- ・開催期間
2025年11月14日(金)～25日(火)
- ・デフリンピックでのルールと特徴
人数11人、前後半45分
ピッチサイズ:フルコート など
- <ルール>
ルールは普通のサッカーと一緒
- <特徴>
主審は笛とフラッグをどちらも使います。
審判は主審を含めて5人
ファウルがあったときに全員がフラッグを使います。



デフリンピック デフサッカー部門～

✓私のイチ推し選手✓

久住呂文華(くじゅうろあやか)さん

江戸川区の難聴学級出身で、今は九州の大学に通う大学生です。中学生からサッカー漬けの日々を送り、今年デフリンピックの女子日本代表に選ばれました！
「多くの人の想い・応援を胸に、日の丸をしっかりと背負って、自分らしいプレーを出し切ります！」と力強く語った久住呂さんを応援しています！



デフリンピック ～バスケット部門～

- ・開催場所
大田総合体育館
(最寄り駅:京急本線 梅屋敷駅から徒歩5分)
- ・開催期間
11月15日(土)～26日(水)
- ・デフリンピックでのルールと特徴
国際ルールに準拠(きこえる人と同じ)
- <ルール>
捕球や人工の音は禁止
- <特徴>
審判のホイッスルやブザーの音はコート両端に立っているフラッグマンが旗を振るなど視覚的な合図に置き換えられている。
コミュニケーションはアイコンタクトやジェスチャーなどで行われる。
具体的に指差しや地面を叩く、手話を使いながらチーム内で会話している。



デフリンピック ～水泳部門～

- ・開催場所
東京アクアティクスセンター(50mプール)
(最寄り駅:東京メトロ有楽町線 辰巳駅)
- ・開催期間
11月20日(木)～25日(火)
- ・デフリンピックでの特徴
国際ルールに準拠(きこえる人と同じ)
- <スタートの合図に違い>
「スタートランプ」で視覚的に合図を出す。
「白」スタート台に乗る → 「青」スタートマーク → 「青」スタート！
※スタートランプが設置されていない大会
スターターの身振りとシグナル(光合図)を使用することも



通級生や教員で各競技を紹介するポスターを作成しました。(難聴学級前の廊下に掲示中！)
デフアスリートの活躍を取り上げるインタビューやドキュメンタリー動画を視聴していると、「目がよく動いている！」「両選手、次の動作への動きがかなり速い！」といった感想を口にする通級生。アスリートとしての試合での考え方に触れた別の通級生は、「自分はその場の感覚でプレーすることが多いな～」と振り返り、お互いにプレースタイルを把握することや、チーム内でのコミュニケーションの大切さに気付いた様子も。日頃、それぞれが熱心に練習に励むスポーツだからこそ、日の丸を背負う選手たちの凄さへの理解が深まったようです。

地元 大田区で開催される競技があることを知ると、デフリンピックがより身近になったようです。大会は11月15日(土)～25日(火)での開催です。競技は観戦無料です。部活動の友達や家族を誘う等して、世界から集まったデフアスリートたちに会場でエールを送ってほしいと思います。観戦したら、どんな気付きがあったのか、是非教えてください。

最後に、デフサッカー代表選手たちのドキュメンタリーを見た通級生の感想とエールを紹介します。

デフリンピックのことを色々知れて凄く良かったです。動画で見たサッカー代表選手たちは、一人ひとりが日本代表に誇りや責任をもっていました。今は練習場があるけれど、昔は知名度が無く、全て自己負担だったことや、選手数が8人しかいなかった話が印象に残りました。

なぜ選手たちがデフリンピックに向けて一生懸命練習し、優勝を目指しているのか。それは今以上に知名度を挙げていきたいからだと分かりました。優勝できるよう、頑張ってください。